

地域探究活動

自分の興味関心を生かし、主体的に地元で活動する

浜商の探究活動とは 好き × 商業 × 地域

『探究』とは、正解のない課題に対して、生徒自身が主体的に考え取り組む活動のことです。浜田商業の探究活動は、自分の興味関心のあるもの、いわゆる「好き」を出発点とします。自分の好きなことを地域で生かす方法を考え、仲間、先生、地域の大人と協働しながら、商業の知識技術を組み合わせて取り組んでいきます。



自分たちの計画を地域の大人の方へ説明し助言をいただく



「オーガニック野菜 × 給食」



「高齢者いきいきプラン」



「浜田の海を守ろう」



「浜田市をスポーツで盛り上げる」

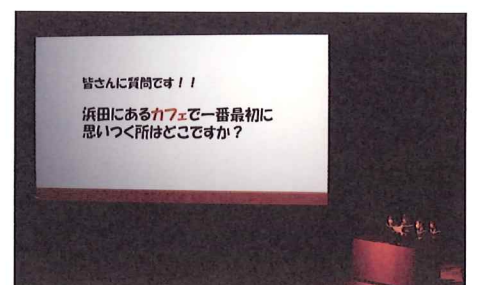
「好き」を用いた地域活動を考える前に、現在自分の好きを仕事に生かし、地域で活躍されている方々を招聘し、講話をしていただきました。講話の内容を参考に、自分たちの好きを生かした活動を始めました。



リアルとオンラインのハイブリット報告会

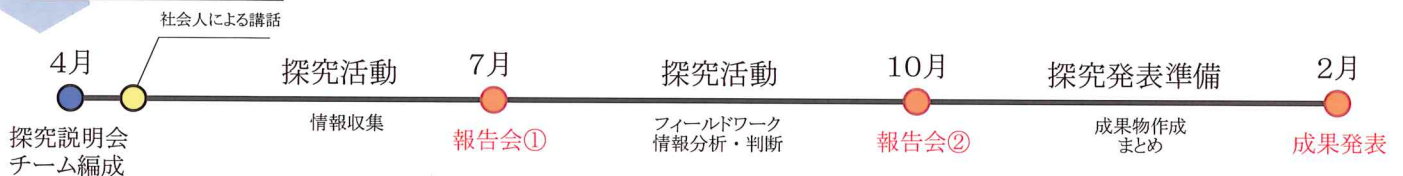


ポスターセッションによる経過報告



「地域探究」最終発表会

探究活動の流れ



Student's Voice



仲間と協力し答えのない問いに取り組む楽しさ

私は江津からの浜田商業高校への入学者を増やす目的で、地域探究活動を行っています。探究活動では、答えのない問いについてグループのメンバーと考え、意見やアイデアをたくさん出し合っています。また、地域の方々と交流をすることで、より地域に密着した結論を出すことができます。私は現在、江津の方々に浜田市や浜田商業高校の魅力を知ってもらうというテーマを掲げて活動しており、現状から理想になるためにどうしたらいいのかや、自分たちのやりたい活動をどうやってまとめて、ゴールにたどり着くようにするのかなどを、日々考え意見を出し合っています。今後も積極的に意見やアイデアを出し、自分なりの答えを見つけていこうと思います。

3年商業科 中山 絆さん（江津中学校出身）



これからどんな活動になるか楽しみだよ!



令和6年度も地域を盛り上げる計画を考え活動中!

© 山高守人

IT 人材育成事業

日常の困りごとを IT を使って問題を解決する
解決方法が新たなビジネスとなる

情報処理科では ICT を活用して、地域に新たな仕事を創造する企業人を育成しています。
プログラミング学習に加え、Steve Blank 氏 (スタンフォード大学) が提唱する顧客開発モデルの実践プログラム「リーンローンチパッド」を取り入れ、身近な課題から新たなサービスを考案する実践的な授業を行っています。
この学習を通して、起業だけでなく、様々な事象・課題に対して解決方法を模索し、よりよいサービスやシステムの再構築を提案できる人材として、これからの社会に求められる人材育成を目指しています。

身近な困りごとをビジネスに！

私たちの身の回りにある困りごとをビジネスに変えていく！高校生ならではの視点で、大人もびっくりのビジネスの卵が生まれています。年度末には、投資家や地元企業経営者に向けてビジネスプランを発表します。また、県内外のビジネスプランコンテストにも応募しています。



株式会社イーダッシュ島根支社
佐々木大輔 支社長 (本校卒業生)

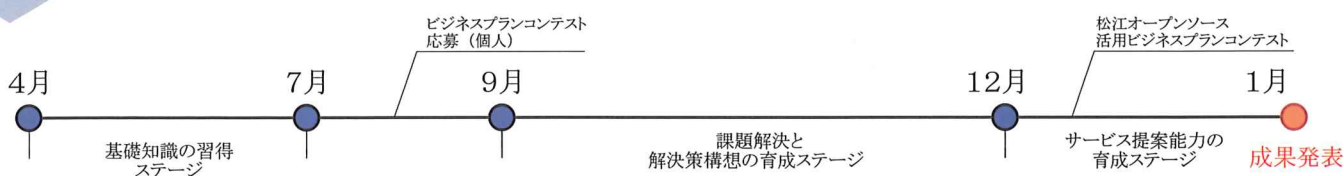
講師紹介 (令和6年度)

地元 IT 起業のエンジニアの方を講師に迎え、実際の企業でも使用される技術やワークツールを学び、学習の中でも活用しています。また、IT分野に限らず、様々な分野で活躍されている方にオンラインで講演をしていただき、幅広い知識や技術・経験を学ぶことができます。



© 山高守人

1年間の流れ



2月成果発表会の様子



令和6年度も IT 人材育成事業活動中！

